

## 秦野市ごみ処理基本計画の進捗について

## 1 計画における課題について

## (1) 焼却体制

本市のごみ排出量は、はだのクリーンセンターの本市分の年間処理能力（33,600 t）を上回る状況にあります。

また、現在のごみの焼却体制は、はだのクリーンセンター（200 t／日）と伊勢原清掃工場90 t／日焼却施設の2施設体制で行っていますが、伊勢原清掃工場90 t／日焼却施設は稼働から30年が経過し、老朽化が進んでいることから稼働を停止して、早急にはだのクリーンセンター1施設で安定的に処理できる量までごみ排出量を減らす必要があります。

## (2) 家庭ごみの有料化の検討

平成37年度末までに、はだのクリーンセンター1施設体制での焼却に移行するため、さまざまな減量・資源化施策を継続、強化するとともに、草類等の新たな資源化施策を実施します。それでも、焼却対象量が計画の中間目標年度である平成33年度までに計画どおりに進まない場合には、ごみ排出量に応じた負担の公平性及び排出抑制をより一層推進していく観点から、家庭ごみの有料化の導入に向けた検討を進めます。

## 2 ごみ処理基本計画改定に係る答申内容について（平成29年2月21日）

(1) ごみの焼却体制については、さらなる分別の徹底、草類等の新たな資源化施策を実施し、はだのクリーンセンター1施設で安定的に処理できるよう、ごみ排出量の削減に取り組むこと。

(2) 家庭ごみの有料化の検討については、中間目標年度までのごみの排出量が重要となるため、平時から計画の推計値と実績の達成状況等を広く市民に周知すること。

また、具体的な手法の検討に当たっては、収集方法や料金設定をはじめ、市民サービスの向上に向けた施策を導入する等、市民からの意見を取り入れた制度となるよう取り組むこと。

(3) 大規模災害を想定し、秦野市災害廃棄物等処理計画にある災害廃棄物の仮置場、処理体制、最終処分体制等を見直し、災害からの早期の復旧・復興のため、適正かつ迅速な処理体制の構築に取り組むこと。

### 3 草類の資源化について【資料2】

平成30年度6月から本町、東、北地区で草類の分別収集を開始しました。  
平成31年度からは、市内全8地区で実施予定です。

#### (1) 収集方法

可燃ごみの収集日が「月曜・木曜」の収集場所は、木曜日  
可燃ごみの収集日が「火曜・金曜」の収集場所は、金曜日

#### (2) 対象

家庭から出る草（根も含む）、葉、切り花、竹

#### (3) 資源化方法

従来、別々に処理していた剪定枝及び木質系粗大ごみと合わせて株式会社駿河サービス工業に搬入し、中間処理（破砕）しています。

チップ化された処理後物は、燃料や肥料の材料として再利用しています。

#### (4) 草類分別収集6・7月の実績

(単位：kg)

区分	6月	7月	合計
本町	33,080	19,810	52,890
東	26,050	30,340	56,390
北	16,000	17,010	33,010
合計	75,130	67,160	142,290

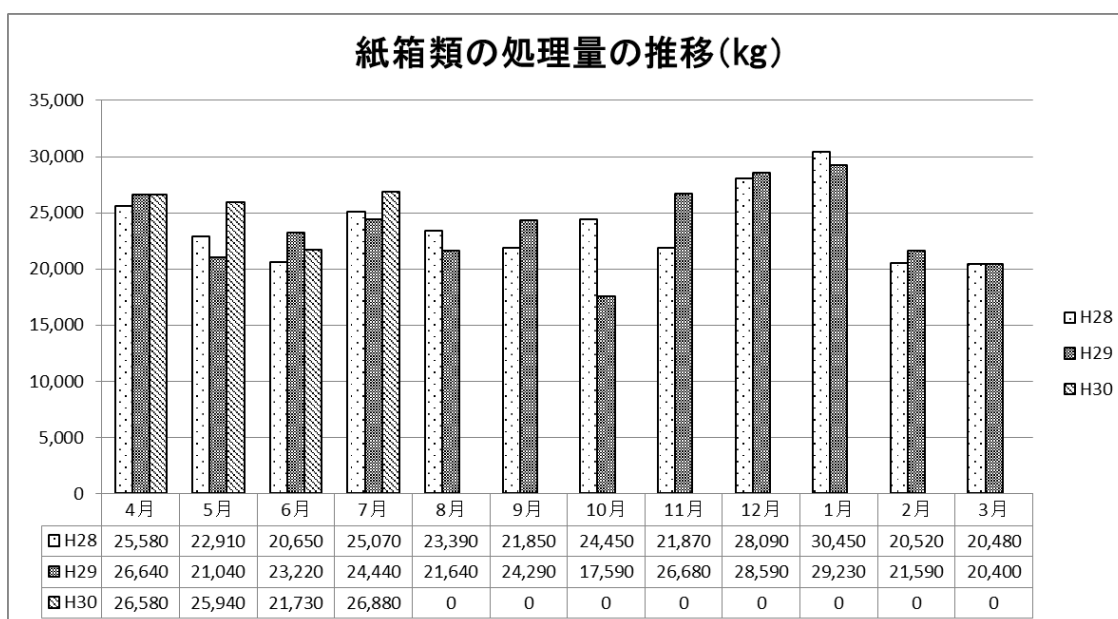
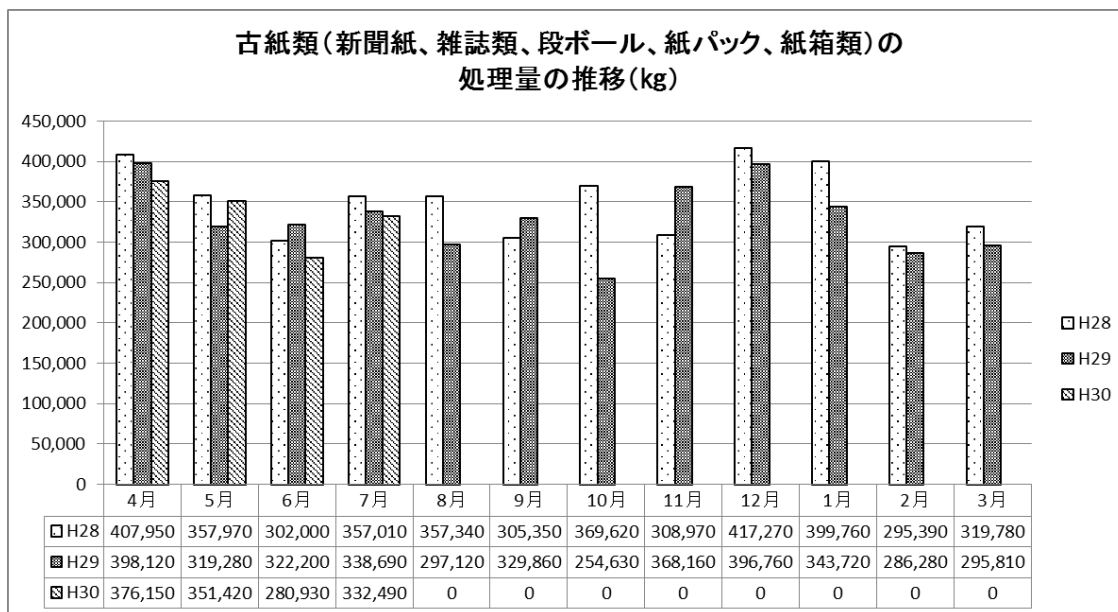
#### (5) 前年同月の可燃ごみ比較

(単位：kg)

区分	月	平成29年度		平成30年度		増減
		収集量	1回当たり	収集量	1回当たり	
本町	6月	350,350	38,928	399,760	44,418	+49,410
	7月	311,650	38,956	408,130	45,348	+96,480
東	6月	259,900	28,878	183,490	20,388	△76,410
	7月	237,470	29,684	186,390	20,710	△51,080
北	6月	224,940	24,993	172,290	21,536	△52,650
	7月	256,660	28,518	194,940	21,660	△61,720

#### 4 古紙類の品目の見直しと排出方法の簡素化【資料3】

家庭から排出される可燃ごみのうち約20%を占める紙類の分別の徹底を図るため、平成29年10月従来可燃ごみとしていた紙類（内側がワックスやアルミコーティングされている紙類、ハガキ、レシート）の資源化と、束ねることが難しいカップめんやラップの芯など立体的なもの及び細かい紙くずを紙袋に入れて出せるよう排出方法の簡素化をしました。



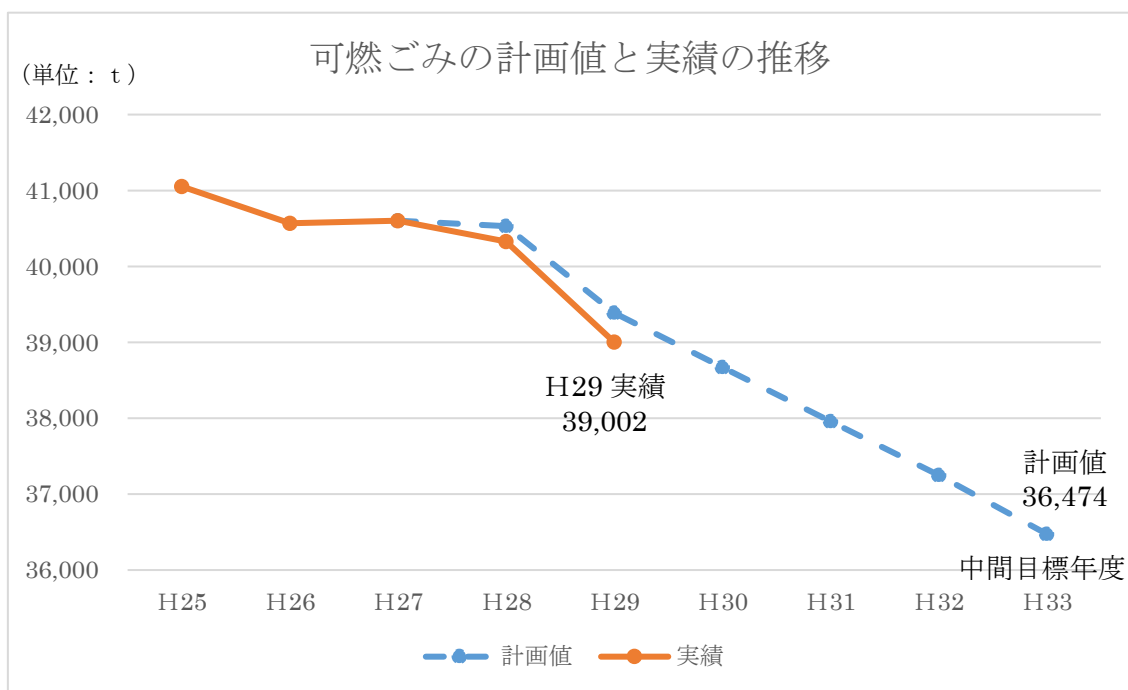
## 5 可燃ごみの計画値と実績

可燃ごみは、平成28年度と平成29年度の比較で約1,300 t減少しています。計画値との比較でも平成28年度で約200 t、平成29年度で約400 t減少しており、計画値を上回る水準で減少しています。

(単位：t)

区分	H28	H29	H30	・・・	H33	・・・	H38
計画値	40,532	39,388	38,671	・・・	36,474	・・・	32,673
実績値	40,326	39,002	—	—	—	—	—
差	-206	-386	—	—	—	—	—

※ 平成30年度6月末現在の速報値でも、前年同月累計で-4.83%



## 6 市民への周知について【資料4】

自治会へ年4回組回覧しているごみ減量通信や昨年に引き続き広報はだの特集号への掲載、また、自治会等への説明会を開催し、はだのクリーンセンター1施設体制への移行の必要性と家庭ごみ有料化の検討開始に向けて、平時から計画の推計値と実績の達成状況等を広く市民に周知できるよう取り組んでいます。